



毛呂山思い出写真館



県道飯能寄居線
れんせいかん
 錬成館(埼玉医大体育館)前
 (昭和62年8月)荻野恒治さん提供



昭和40年



昭和25年



現在の風景

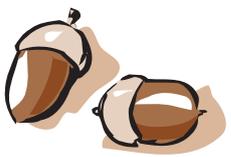
募集中
 昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295)2112内線332までご連絡ください。

昭和25年から昭和40年、昭和62年に同じ場所で撮影された風景です。道路の変化だけでなく、周りの風景も時代を重ね変化している様子がよくわかる写真です。

徒然歳時記

どんぐり 団栗

団栗は、ブナ科の木の実の呼び名です。団栗のなる木は、ミズナラやコナラ、クヌギなど、日本におよそ20種類あると言われています。



団栗という名がついたのは、「団」が丸い形を意味するためという説と、団栗のルーツである韓国で、昔、丸いものごとを「ドングル・イ」と呼んでいたためであるという説があります。いずれにせよ、丸く可愛らしい形をした団栗は、コマややじろべえといった古典的な遊びの中に取り入れられたり、俳句の題材として親しまれたりしてきました。

一般に、鑑賞用とされる団栗ですが、その栄養価は高く、タンパク質やビタミンC、アミノ酸などを含みます。縄文時代には団栗が主食のひとつとして食べられており、アクぬきや保存のために縄文土器が作られたとも言われています。中世以降も、飢餓や食糧難に備える非常食として、長期保存が可能な団栗が重宝されました。現在でも、韓国には団栗から採取したデンプンを外郎状にした食べ物や、団栗のスープがあります。

毎年沢山なるわけではなく、2~3年周期で「当たり年」があるという団栗。今年はどうでしょうか。晩秋の里山でウォーキングをする際、落ち葉の下に隠れる団栗に改めて注目してみるのも、楽しいのではないのでしょうか。

編集後記

今月号では、獅子舞取材しました。五穀豊穡や無病息災に感謝する秋の獅子舞を見たのは初めてでした。地区によっては、獅子の役や「ささら」の演奏を小中学生が行っている所もあり、躍動感のあるすばらしい演技に感動して、思わず一句詠んでしまいました！

「神殿の ささら獅子舞 秋祭り」(N)

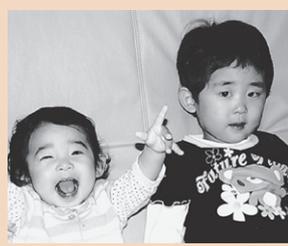
わがやのアイドル



青木 琉希也くん
 (1歳6か月)

何でもマネをしたがる琉希也!!
 いたずらっぷりも絶好調♡ 毎日毎日

が成長中なので、パパとママは、日々楽しみにしています。これからも、笑顔をたくさんちょうだいネ♡



岡本 愛子ちゃん
 (3歳4か月)
 直子ちゃん
 (1歳2か月)

お外で遊ぶの大好き、元気なお姉ちゃん
 の愛子。笑顔ニコニコ甘え上手少しやんちゃな妹の直子です。愛子もちよっとお姉ちゃんらしくなってきたかな?

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
 申・問 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

人口 36,584 人 (-13 人)
 【男 18,209 人 (-7 人) 女 18,375 人 (-6 人)】
 世帯 15,750 戸 (-1 戸)
 ※平成 22 年 11 月 1 日現在 (カッコ) 内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。